



平成23年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月31日

上場会社名 株式会社 paper boy & co. 上場取引所 大
 コード番号 3633 URL <http://www.paperboy.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤健太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼経営管理本部長 (氏名) 久保田文之 (TEL) 03-5456-3021
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月1日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第3四半期の業績 (平成23年1月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第3四半期	2,545	11.7	485	15.0	529	28.6	305	26.9
22年12月期第3四半期	2,278	12.5	422	△6.2	411	△8.7	240	△8.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第3四半期	229 95	229 05
22年12月期第3四半期	181 29	180 75

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第3四半期	2,822	1,283	45.5	967 26
22年12月期	2,504	1,150	45.9	867 17

(参考) 自己資本 23年12月期第3四半期 1,283百万円 22年12月期 1,150百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	-	0 00	-	130 00	130 00
23年12月期	-	0 00	-		
23年12月期(予想)				130 00	130 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年12月期の業績予想 (平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,350	8.0	700	12.4	700	17.2	400	14.1	301 46

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年12月期3Q	1,327,200株	22年12月期	1,327,000株
23年12月期3Q	194株	22年12月期	124株
23年12月期3Q	1,326,916株	22年12月期3Q	1,326,287株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
【第3四半期累計期間】	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。
・平成23年11月1日（火）・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

※ 上記説明会のほかにも、当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済状況は、依然として企業の生産活動および個人の消費活動に東日本大震災の影響がみられ不安定な経済状況下にありますが、IT関連市場においてはインターネット利用者が増加し続けています。スマートフォンの普及も引き続き進んでおり、電子書籍などのデジタルコンテンツの流通環境の整備も急速に進んでいます。また、東日本大震災以降、情報伝達手段としてソーシャルネットワークサービスを利用するインターネットユーザーが増加しています。

このような事業環境のもと当社においては、各サービスでスマートフォン用アプリケーションや新機能を提供したことで契約件数が伸び、売上高・利益ともに堅調に推移し、当第3四半期累計期間における業績は、売上高2,545,598千円（前年同四半期比111.7%）、営業利益485,488千円（前年同四半期比115.0%）、経常利益529,436千円（前年同四半期比128.6%）、四半期純利益305,120千円（前年同四半期比126.9%）となりました。

（セグメント別の状況）

(1) ホスティング事業

ホスティング事業は、レンタルサーバーの新たな用途を提案するスマートフォン用アプリケーションや割引キャンペーンを展開し、当第3四半期累計期間のレンタルサーバーサービス契約件数は335,000件（前会計年度末比19,000件増）となりました。また、レンタルサーバー契約件数の順調な増加に伴い、ドメインサービスも堅調に推移し、登録ドメイン数は727,000件（前会計年度末比45,000件増）となりました。

この結果、当第3四半期累計期間におけるホスティング事業の売上高は1,860,615千円（前年同四半期比109.2%）、セグメント利益は613,827千円となりました。

(2) EC支援事業

EC支援事業については「カラーミーショップ」において、サービスに関するユーザーの要望を集めて実現するサイト「お願い！カラーミー」の提供を開始し顧客満足度の向上を推進しました。当第3四半期累計期間の「カラーミーショップ」契約件数は34,000件（前会計年度末比4,000件増）、「カラメル」の出店店舗数は17,500件（前会計年度末比1,200件増）となりました。

この結果、当第3四半期累計期間におけるEC支援事業の売上高は509,877千円（前年同四半期比127.8%）、セグメント利益は271,603千円となりました。

(3) コミュニティ事業

コミュニティ事業は、会員数1,530,000名の「JUGEM」においては、本事業年度に新たに導入したスマートフォン向け広告が好調で、PC向け広告についても最適化を図りました。有料プラン「JUGEM PLUS」の契約件数も堅調に推移し、当第3四半期累計期間における「JUGEM PLUS」の契約件数は18,000件（前会計年度末比3,000件増）となりました。

ブックレビューコミュニティサイト「ブックログ」では、企業とのタイアップ企画やコンテスト企画で集客を図り、会員数438,000名（前会計年度末比97,000名増）と順調に会員数を伸ばしております。

また、電子書籍市場の拡大を見越した電子書籍作成・販売プラットフォーム「パパー」への戦略的先行投資も継続的に行っております。

この結果、当第3四半期累計期間におけるコミュニティ事業の売上高は175,105千円（前年同四半期比99.9%）、セグメント利益は1,936千円となりました。

(注) 第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

これによる事業区分に与える影響はないため、前年同四半期比較を行っております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 財政状態

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産の残高は、前事業年度末に比べ318,058千円増加し、2,822,638千円となりました。主な増加要因は、売上及び利益の増加による「現金及び預金」の増加179,983千円及び「売掛金」の増加31,074千円、投資有価証券の取得及び匿名組合出資金の投資益計上に伴う「投資その他の資産」の増加57,021千円によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末に比べ185,133千円増加し、1,539,081千円となりました。主な増加要因は、会員数の増加等に伴う「前受金」の増加113,983千円、資産除去債務会計基準の適用に伴う「資産除去債務」の増加13,251千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べ132,925千円増加し、1,283,556千円となりました。これは、主に剰余金の配当により172,493千円減少したものの当四半期純利益305,120千円を計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間末における現金及び現金同等物は、1,810,257千円と前事業年度末と比べ179,983千円の増加となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた現金及び現金同等物は、469,283千円となりました。これは主に、有料会員数等の増加等に伴う売上債権の増加による31,074千円の減少、前事業年度に係る法人税等の支払による222,251千円の減少、有料会員数増加に伴う前受金の増加による113,983千円の増加や減価償却費84,256千円及び税引前四半期純利益523,054千円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した現金及び現金同等物は、117,799千円となりました。これは主に、サービス用サーバー投資など有形固定資産の取得に関する支出が47,896千円、自社利用サービスのソフトウェア開発投資など無形固定資産の取得に関する支出が39,782千円、投資有価証券の取得による支出が30,808千円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した現金及び現金同等物は、171,500千円となりました。これは主に、配当金の支払いによる支出が171,799千円あったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、概ね計画通りに推移しておりますので、平成23年2月8日発表の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる四半期財務諸表に与える影響は軽微であります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,810,257	1,630,273
売掛金	416,897	385,823
前払費用	28,739	28,545
その他	84,096	45,684
流動資産合計	2,339,990	2,090,328
固定資産		
有形固定資産	149,560	147,166
無形固定資産	103,592	94,611
投資その他の資産	229,494	172,473
固定資産合計	482,647	414,251
資産合計	2,822,638	2,504,579
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	108,500	107,000
賞与引当金	11,600	—
役員賞与引当金	14,300	—
前受金	929,556	815,573
その他	461,874	431,375
流動負債合計	1,525,830	1,353,948
固定負債		
資産除去債務	13,251	—
固定負債合計	13,251	—
負債合計	1,539,081	1,353,948
純資産の部		
株主資本		
資本金	120,867	120,621
資本剰余金	110,867	110,621
利益剰余金	1,052,338	919,711
自己株式	△517	△323
株主資本合計	1,283,556	1,150,630
純資産合計	1,283,556	1,150,630
負債純資産合計	2,822,638	2,504,579

(2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,278,194	2,545,598
売上原価	1,143,516	1,195,240
売上総利益	1,134,678	1,350,357
販売費及び一般管理費	712,593	864,869
営業利益	422,084	485,488
営業外収益		
受取利息	5	5
受取手数料	115	—
受取配当金	—	17,430
匿名組合投資利益	—	26,323
その他	—	319
営業外収益合計	120	44,077
営業外費用		
匿名組合投資損失	10,033	—
消費税等調整額	506	129
営業外費用合計	10,539	129
経常利益	411,665	529,436
特別損失		
固定資産除却損	580	887
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	5,494
特別損失合計	580	6,382
税引前四半期純利益	411,084	523,054
法人税、住民税及び事業税	147,573	223,246
法人税等調整額	23,073	△5,312
法人税等合計	170,646	217,933
四半期純利益	240,438	305,120

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	411,084	523,054
減価償却費	72,803	84,256
固定資産除却損	580	887
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	11,600
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	14,300
匿名組合投資損益(△は益)	10,033	△26,323
受取利息及び受取配当金	△5	△17,435
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	5,494
売上債権の増減額(△は増加)	△25,358	△31,074
その他の流動資産の増減額(△は増加)	3,650	△33,868
前受金の増減額(△は減少)	69,533	113,983
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△18,945	29,186
その他	749	38
小計	524,126	674,099
利息及び配当金の受取額	5	17,435
法人税等の支払額	△297,815	△222,251
営業活動によるキャッシュ・フロー	226,316	469,283
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△153,435	△47,896
無形固定資産の取得による支出	△24,075	△39,782
投資有価証券の取得による支出	—	△30,808
敷金及び保証金の回収による収入	4,619	—
敷金及び保証金の差入による支出	△8,245	—
匿名組合出資金の払込による支出	△43,750	—
その他	△404	687
投資活動によるキャッシュ・フロー	△225,290	△117,799
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,727	493
自己株式の取得による支出	△323	△194
配当金の支払額	△145,512	△171,799
財務活動によるキャッシュ・フロー	△144,108	△171,500
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△143,082	179,983
現金及び現金同等物の期首残高	1,699,243	1,630,273
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,556,160	1,810,257

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、個人向けにインターネットサービスを提供しており、「ホスティング事業」「EC支援事業」「コミュニティ事業」の3つを報告セグメントとしております。「ホスティング事業」では、主にサーバーを提供するレンタルサーバーサービスやドメイン取得や活用に関わるドメイン取得サービスを提供しており、「EC支援事業」では、主に電子商取引の運営を支援するオンラインショップ構築サービス及びオンラインショッピングモールを提供しており、「コミュニティ事業」では、ブログやSNSなどインターネット上でのコミュニケーションを軸とするサービスを提供しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額合計 (注) 2
	ホスティング 事業	EC支援事業	コミュニテ ィ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,860,615	509,877	175,105	2,545,598	-	2,545,598
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,860,615	509,877	175,105	2,545,598	-	2,545,598
セグメント利益又は損失(△)	613,827	271,603	1,936	887,368	△401,879	485,488

(注) 1 セグメント利益の調整額△401,879千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 当第3四半期累計期間におけるセグメント別の販売高は以下のとおりです。

セグメントの名称	前第3四半期累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)		当第3四半期累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)		前年同 四半期比 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
ホスティング事業	1,703,854	74.8	1,860,615	73.1	109.2
EC支援事業	399,036	17.5	509,877	20.0	127.8
コミュニティ事業	175,303	7.7	175,105	6.9	99.9
合計	2,278,194	100.0	2,545,598	100.0	111.7

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。
 これによる事業区分に与える影響はないため、前年同四半期比較を行っております。

(2) 当第3四半期における主要サービス別契約件数は以下のとおりです。

事業部門	平成22年 第3四半期 (件)	平成22年 第4四半期 (件)	平成23年 第1四半期 (件)	平成23年 第2四半期 (件)	平成23年 第3四半期 (件)	前年同 四半期比 (%)
レンタルサーバー(注1)	311,000	316,000	321,000	328,000	335,000	107.7
ムーブドメイン	660,000	682,000	699,000	701,000	727,000	110.2
カラーミーショップ	29,000	30,000	31,000	32,000	34,000	117.2
JUGEM PLUS(注2)	14,000	15,000	16,000	17,000	18,000	128.6

- (注) 1 レンタルサーバーは「ロリポップ!」「チカッパ!」「ヘテムル」「プチ・ホームページサービス」の合算です。
 2 「JUGEM PLUS」は、無料ブログ「JUGEM」の有料版サービスです。